該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年	特別な支援を要する子どもの理解と支援	大熊 光穂	
サブタイトル		単 位 数	1
授業形態	講義	出席要件	4 / 5 以上
開講時期	後期		
到 達 目 標			
<p>(1) 目的 様々な障害を含む、特別な支援を要する子どもの個々の特性や心身の発達について学び、支援の方法を考える力を養う。</p> <p>(2) 授業構成と到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児保育、特別支援教育を支える理念を理解し、障害児保育・特別支援教育の歴史の変遷を述べることができる。 2. 特別な支援を要する子どもの心身の発達や個々の障害の特性を説明することができる。 3. 個々の特性に応じた支援の方法を考えることができる。 			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
<p>(1) ディプロマポリシーとの関連：専門士授与の方針2のうち、専門職に関する知識・技能（ここでは障害児支援と、一般の幼児・児童に対する障害理解教育の方法）の力を身につけている人を育てる。</p> <p>(2) カリキュラムマップとの関連：教員免許状取得の必修科目（教育の基礎的理解に関する科目）である。マップでは1部生2年次、2部生3年次に位置づけられる。</p>			
授 業 の 方 法			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 演習科目であるが、障害児保育、特別支援教育についての基礎的な知識の習得のために、講義も行う。その際には、障害や障害児の理解につながるような質疑応答を随時行う。 2. テーマに応じて演習課題を用意し、個々での取り組みとグループワークを行う。 3. 実際の子どもの姿をイメージしやすくするために、DVDなどの視聴覚教材を適宜利用しながら進める。 4. 授業内で課したレポート等は、内容についてのフィードバックを配布資料もしくは授業内に口頭で行う。 5. 上記の方法により、リテラシーの実質化として、障害児保育、特別支援教育に関する基礎知識や知見を整理・保存し、さらに障害のある子どもへの支援に関する課題を設定する力をつけることができる。 			
テキスト・教材・参考図書			
<p>教科書：「特別支援教育・保育概論－特別な配慮を要する子どもの理解と支援－」 尾野明美・小湊真衣・奥田訓子 編著 萌文書林 2019年（改訂新版）</p> <p>参考書：「幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 内閣府/文部科学省/厚生労働省 編著 チャイルド本社 2017年</p>			
評 価 の 要 点		総 合 評 価 割 合	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害の概念を理解しているか。障害児保育、特別支援教育の歴史を理解しているか。 2. 様々な障害の特徴を理解して、要点を具体的に説明できるか。 3. 特別な支援を要する子どもの状況を理解したうえで、可能な対応を提案することができるか。 		<p>定期試験 80%</p> <p>授業中に課す課題への取り組み（質問に対する応答、学習意欲、提出物等）20%</p>	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日ごろから特別な支援を要する子どもや障害についてのニュースや新聞・雑誌記事などに注意するようにしましょう。 2. 授業には主体的に取り組ましましょう。教科書を必ず持参すること。 			

科 目 名 特別な支援を要する子どもの理解と支援

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス 1.授業の内容を概説し、進め方、評価の方法について説明する。 2.各自の障害観、障害児(者)観を整理し、障害とはどういうことか考える。	科目の目標の理解自分の障害観、障害児(者)観
2回	特別な支援を要する子どもの保育・教育の歴史及び理念 1.戦前から現在までの障害児保育、特別支援教育の変遷を理解する。 2.障害児保育、特別支援教育の理念を理解する。	障害児保育・教育の歴史と理念の理解
3回	肢体不自由児の理解と支援 1.肢体不自由の概念について理解する。 2.脳性まひとはどのような障害か理解する。 3.肢体不自由児への支援について理解する。	肢体不自由の概念、脳性まひの特性の理解
4回	視覚障害児の理解と支援 1.視覚障害とはどのような障害か理解する。 2.視覚障害児への支援の方法について考える。	視覚障害の理解、視覚障害児への支援方法
5回	聴覚障害児の理解と支援 1.聴覚障害とはどのような障害か理解する。 2.聴覚障害児への支援の方法について考える。	聴覚障害の理解、聴覚障害児への支援方法
6回	知的障害児の理解と支援 1 1.知的発達の過程を理解する。 2.知的障害とはどのような障害か理解する。	知的発達の過程、知的能力の評価の方法、知的障害の特性の理解
7回	知的障害児の理解と支援 2 1.知的障害児への支援の方法について考える。	知的障害児への支援の方法
8回	自閉スペクトラム症児の理解と支援 1 1.自閉スペクトラム症の様々な特性を理解する。	自閉スペクトラム症の特性の理解
9回	自閉スペクトラム症児の理解と支援 2 2.自閉スペクトラム症児への支援の方法について考える	自閉スペクトラム症児への支援方法
10回	注意欠如・多動性障害(ADHD)児・限局性学習症児の理解と支援 1.ADHDとはどのような障害か理解する。 2.ADHD児への支援の方法について考える。 3.限局性学習症の特徴を理解し、支援の方法について考える。	ADHDの特性の理解と支援方法、限局性学習症の特性の理解と支援方法
11回	言語障害児の理解と支援 1.言語障害とはどのような障害か理解する。 2.構音障害、吃音のある子どもへの支援の方法について考える。	構音障害、吃音の理解と支援
12回	重症心身障害児・医療的ケア児の理解と支援 1.重症心身障害とはどのような障害か理解する。 2.重症心身障害児への支援について考える。 3.医療的ケア児について理解する。	重症心身障害の特性の理解、重症心身障害児への支援方法、医療的ケア児の理解
13回	個別の指導計画の理解 1.個別の指導計画とは何かを理解する。 2.個別の指導計画の具体的な作成について理解する。	個別の指導計画の理解と作成
14回	家庭及び自治体・関係機関との連携 1.保護者や家庭に対する理解と支援を学ぶ。 2.児童発達支援センター等との連携と協働について理解する。	保護者や家庭に対する理解と支援、児童発達支援センター等との連携の理解
15回	特別な支援を要する子どもを取り巻く現状と課題 1.保健・医療における現状と課題を学ぶ。 2.福祉・教育における現状と課題を学ぶ。 3.支援の場の広がりを考える。	特別支援の現状と課題への理解
試験	定期試験	